





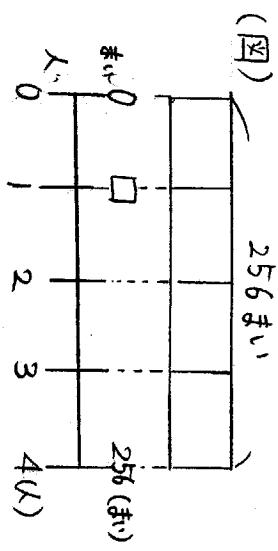




4年⑤ わり算のしかたを考えよう (5/27 ①)

256まいの色紙を4人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになりますか。(カードをじゅんぶんしましょう。)

(1) 図と式をかくにんしよう。



(式)  $256 \text{まい} \div 4 \text{人}$   
 大体、1人何まいくらいに分かるかな? 予想してみよう。  
 大体 ( ) まいくらい。

(2) カードを動かしながら、筆算の仕方(=計算の仕方)を考える。

① カードを  25まい  5まい  6まいじゅんぶんびする。

② (百の位の計算)  25まいを4人に分けることは(できる・できない)ので、

25まい  $\div$  4人分 =  0まい  6まい  2まい

この  25まいをうら返して、 25まいにする。 ← ポイント

← 筆算のポイント

③ (十の位の計算)

25まいと前からある  5まいで、全部で  30まいになる。  
 この  25まいを4人に分けることはできるのので、

25まい  $\div$  4人 =  6まい ( ) まい  4まい  1まい

この  1まいをうら返して、 10まいにする。 ← 筆算のポイント

④ (一の位の計算)

6まいと前からある  16まいで、全部で  22まいになる。  
 この  16まいを4人に分けることはできるのので、

16まい  $\div$  4人分 =  4まい ( ) まい

⑤ (答え)

6まい ( ) まい  4まい ( ) まいなので、  
 1人分は ( ) まい。

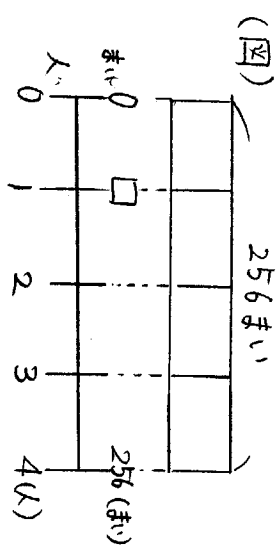
(3) (2)の①～⑤までを筆算でかくと、

<input type="text" value="100"/> 25まい 百の位 十の位 一の位	<input type="text" value="100"/> 25まい 百の位 十の位 一の位	<input type="text" value="100"/> 25まい 百の位 十の位 一の位
$\begin{array}{r} 4 \overline{) 256} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 2 \phantom{0} \\ \underline{2} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \\ \underline{0} \phantom{0} \\ 6 \phantom{0} \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \overline{) 256} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 2 \phantom{0} \\ \underline{2} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \\ \underline{0} \phantom{0} \\ 6 \phantom{0} \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \overline{) 256} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 2 \phantom{0} \\ \underline{2} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \\ \underline{0} \phantom{0} \\ 6 \phantom{0} \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$
<p><input type="text" value="100"/> 25まいは4人に分けることはできない。だから、<input type="text" value="100"/> 20まいにする。(うら返す)</p>	<p><input type="text" value="100"/> 20まいと前からある <input type="text" value="100"/> 5まいを合わせた <input type="text" value="100"/> 25まいを4人で分けたら、1人分は <input type="text" value="100"/> 6まい(うら返す)、<input type="text" value="100"/> 10まいになる。(うら返す)</p>	<p><input type="text" value="100"/> 10まいと前からある <input type="text" value="100"/> 6まいを合わせた <input type="text" value="100"/> 16まいを4人で分けたら、1人分は <input type="text" value="100"/> 4まい(うら返す)。 <input type="text" value="100"/> 6まい <math>\div</math> 4 = <input type="text" value="100"/> 1まい <math>\div</math> 4 = <input type="text" value="100"/> 0.25まい</p>

4年⑥ わり算のしかたを考えよう (5/27 ①の答え)

256まいの色紙を4人で同じ数ずつ分けると、1人分は何まいになりますか。(カードをいんぴんびましよう。)

(1) 図と式をかくにんしよう。



ポイント  
256まいを大体いくつかに考え、  
4×何十といっしょに考えろ。

(式)  $256 \text{まい} \div 4$   
大体、1人何まいくらいになるかな? 予想してみよう。  
大体 ( ) まいくらい。

(2) カードを動かしながら、筆算の仕方(=計算の仕方)を考える。

① カードを  $\boxed{100}$  2まい  $\boxed{10}$  5まい  $\boxed{1}$  6まいびんびする。

② (百の位の計算)

$\boxed{100}$  2まいを4人に分けることは(できる(できない))ので、

$\boxed{100}$  2まい  $\div$  4人分 =  $\boxed{100}$  0まい あまり  $\boxed{100}$  2まい

この  $\boxed{100}$  2まいをうら返して、

ポイント

③ (十の位の計算)

$\boxed{10}$  2まいと前からある  $\boxed{10}$  5まいで、全部で  $\boxed{10}$  7まいになる。

この  $\boxed{10}$  7まいを4人に分けることはできるのぞ、

$\boxed{10}$  25まい  $\div$  4人 =  $\boxed{10}$  6まい あまり  $\boxed{10}$  1まい

この  $\boxed{10}$  1まいをうら返して、

ポイント

④ (一の位の計算)

$\boxed{10}$  16まいと前からある  $\boxed{10}$  6まいで、全部で  $\boxed{10}$  22まいになる。

この  $\boxed{10}$  22まいを4人に分けることはできるのぞ、

$\boxed{10}$  16まい  $\div$  4人分 =  $\boxed{10}$  4まい

⑤ (答え)

$\boxed{10}$  6まい (6) まい  $\boxed{10}$  4まい (4) まい なのぞ、

1人分は (64) まい。

(3) (2) の  $\boxed{1}$  ~  $\boxed{5}$  ままで筆算でかくと、

$\boxed{100}$   $\boxed{10}$   $\boxed{1}$ 百の位   十の位   一の位	$\boxed{100}$   $\boxed{10}$   $\boxed{1}$ 百の位   十の位   一の位	$\boxed{100}$   $\boxed{10}$   $\boxed{1}$ 百の位   十の位   一の位
$\begin{array}{r} 4 \overline{) 256} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 2 \phantom{0} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \\ \underline{0} \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \overline{) 256} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 2 \phantom{0} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \\ \underline{0} \\ 6 \end{array}$	$\begin{array}{r} 4 \overline{) 256} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 2 \phantom{0} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \\ \underline{0} \\ 6 \end{array}$
<p><math>\boxed{100}</math> 2まいは4人に分けることはできない。だから <math>\boxed{10}</math> 20まいにする。(うら返す)</p>	<p><math>\boxed{10}</math> 20まいと前からある <math>\boxed{10}</math> 5まいを合わせた <math>\boxed{10}</math> 25まいを4人で分けると、1人分は <math>\boxed{10}</math> 6まいずつになり、<math>\boxed{10}</math> 1まいあまる。これを <math>\boxed{10}</math> 10まいにする(うら返す)</p>	<p><math>\boxed{10}</math> 10まいと前からある <math>\boxed{10}</math> 6まいを合わせた <math>\boxed{10}</math> 16まいを4人で分けると、1人分は4まいになる。 <math>\boxed{10}</math> 6まい <math>\div</math> 4 = <math>\boxed{10}</math> 4まい <math>\overline{) 64}</math> まい</p>

わり算のしかたを考えよう (5/27 ②)

(4) 256 ÷ 4 の筆算は、下のようになります。

256 ÷ 4 の筆算のしかた

$$4 \overline{) 256}$$

百の位の計算  
2 ÷ 4 だから、百の位に商はたたない。

十の位の計算

$$4 \overline{) 256}$$

25 ÷ 4 で、十の位に商6をたてる。  
25 ÷ 4 = 6あまり1

一の位の計算

$$4 \overline{) 256}$$

6をおろす。  
16 ÷ 4 で、一の位に商4をたてる。  
16 ÷ 4 = 4

とちゆうの計算でも、  
25 ÷ 4 = 6あまり1で、  
あまりが、わる数より  
小さくなっているね。  
わる数 > あまり  
4

この筆算も今までの  
同じように、位ごとに  
「たてる → かける → ひく  
→ おろす」  
をくり返しているね。

けん算をしてみると

$$4 \times 64 = 64 \times 4 = 256$$

$$\begin{array}{r} 4 \\ \times 64 \\ \hline 16 \\ 24 \phantom{0} \\ \hline 256 \end{array}$$

両方とも計算できるかな?  
大事なのでよく習っておこう。

わる数とけん算の答え  
が等しいので、わり算の答え  
「64」は合っているね。

まとめ

わる数の一番大きい位の数が、わる数より小さいとき、  
次の位までぶんくめた数で計算を始める。

カードをう返すと、まい数がぶんけるマジック。

(練習) 筆算で答えを求めよう。

5	4	2	7	3	2	6	8	6	2	2	8	2							
4	0	2	7	2	4	2	8	2	4	2	8	4							

位の数をよく見て、  
筆算しよう。

うがきを  
やってみよう。

① カードを動かして、  
×と÷をそれぞれしよう。

② 位の数字の意味を  
考えながら、書いてみよう。

① ② の考えを生かして、  
書いてみよう。

4	3	0	8	2	1	2	8	8	2	4	4								
	2	8	2			8													

自分で  
書いて  
みよう。

明日からは、ここまでの復習が中心です。  
じゅぎょうでも学習するから、安心してね。

(4) 256 ÷ 4 の筆算は、下のようになります。

256 ÷ 4 の筆算のしかた

4) 256	.....	百の位の計算
24	2 ÷ 4 だから、百の位に	商はただなさい。
16	.....	十の位の計算
16	25 ÷ 4 で、十の位に	商6をたてる。
0	25 ÷ 4 = 6あまり1	.....
	一の位の計算	6をおろす。
	16 ÷ 4 で、一の位に	商4をたてる。
	16 ÷ 4 = 4	

どちゆうの計算でも、  
25 ÷ 4 = 6あまり1で、  
あまりが、わる数より  
小さくなっているね。  
わる数 > あまり  
4

この筆算も今持て  
同じように、位ごとに  
「たてる → かける → ひく  
→ おろす」  
をくり返しているね。

筆算のしかたはこれまでと同じだね。

けん算をしてみると

4 × 64 = 64 × 4 = 256

4	×	64	
24		16	
256			

両方とも計算できるかな？  
大事なので、よく習っておこう。

わるれる数とけん算の答え  
が等しいので、わり算の答え  
「64」は合っているね。

まとめ

わるれる数の一番大きい位の数が、わる数より小さいとき、  
次の位まで「ふくめた数」で計算を始める。

カードをう返すと、まい数がふえるマジック。

(練習) 筆算で答えを求めよう。

	百の位	十の位	一の位		百の位	十の位	一の位		百の位	十の位	一の位
5	4	4	0	2	8	8	6	2	4	4	2
2	7	7	5	2	9	9	2	4	4	2	
2	2	4	2	2	8	8	2	4	4	2	
2	5	7	2	2	7	7	2	4	4	2	

① カードを動かして、  
「たてる」をしよう。

② 位の数字の意味を  
考えながら、書いてみよう。

③ ②の考えを生かして、  
書いてみよう。

位の数をよく見て、  
言計算しよう。

4	3	2	7	0	2	6	8	2	3	8	30
8	8	8	7	8	4	4	8	4	0	4	24
2	8	8	2	8	2	2	2	4	4	4	4
2	8	8	2	8	2	2	2	4	4	4	4

0をかかずに  
筆算できたかな？  
0をかいたときは、  
後で消せばいいよ。

30  
8) 244  
24  
4  
ま、あっていいね。

明日からは、ここまでの復習が中心です。  
じゅぎょうでも学習するから安心してね。



4年⑨

わり算のしかたを考えよう (5/28)

わり算の練習をしよう。(二桁÷一桁の計算が中心)

- ①  $90 \div 3 =$
- ②  $120 \div 4 =$
- ③  $300 \div 6 =$
- ④  $450 \div 5 =$

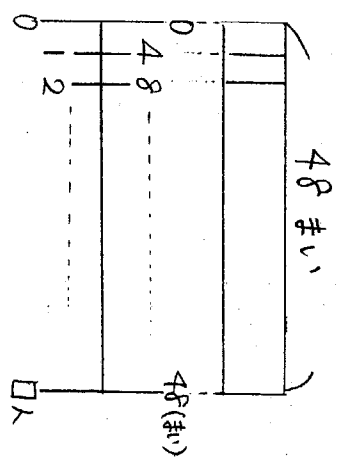
⑩のさいを6人では  
かたがたいから...

⑤	2 4	⑥	2 5	⑦	
	3/7 2		3/7 6		2/7 15
	6		6		
	1 2		1 6		
	1 2		1 5		
	0		1		
(計算)	$3 \times 24 = 72$	(計算)	$3 \times 25 = 75$	(計算)	

⑧		⑨		⑩	
	8)9 5		7)8 2		6)7 0
(計算)		(計算)		(計算)	

⑩と①のカードを使って、  
とくくてもかまいません。  
筆算のしかたがより学習できます。

⑪ 48まいの紙を1人に4まいずつくばりました。  
何人にくばれますか。(図はなぞってかき方をおぼえよう。)




(式) \_\_\_\_\_

(答え) \_\_\_\_\_

⑫ 91このあめを1人に3こずつくばります。何人にくばれ  
て、何こあまりますか。  
(式)


(答え) \_\_\_\_\_ 人にくばれて、 \_\_\_\_\_ こあまる。

筆算で計算しよう。

4年⑩ わり算のしかたを考えよう (5/28の答え)

わり算の練習をしよう。(二桁÷一桁の計算が中心)

- ①  $90 \div 3 = 30$       ②  $120 \div 4 = 30$   
 ③  $300 \div 6 = 50$       ④  $450 \div 5 = 90$

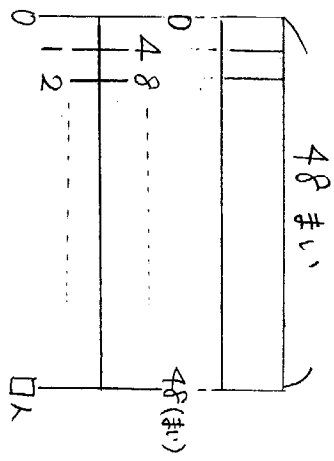
⑩が何まいとみるよ、てき3ね。

答えの見当をつけるときに「かおろ」。

⑤	$\begin{array}{r} 24 \\ 3 \overline{)72} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{12} \\ 0 \end{array}$	⑥	$\begin{array}{r} 25 \\ 3 \overline{)76} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 16 \\ \underline{15} \\ 1 \phantom{0} \\ 1 \phantom{0} \end{array}$	⑦	$\begin{array}{r} 37 \\ 2 \overline{)74} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 14 \\ \underline{14} \\ 0 \end{array}$
(計算)	$3 \times 24 = 72$	(計算)	$3 \times 25 + 1 = 76$	(計算)	$2 \times 37 + 1 = 75$

⑧	$\begin{array}{r} 11 \\ 8 \overline{)95} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 15 \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 7 \phantom{0} \end{array}$	⑨	$\begin{array}{r} 11 \\ 7 \overline{)82} \\ \underline{7} \phantom{0} \\ 12 \\ \underline{7} \phantom{0} \\ 5 \phantom{0} \end{array}$	⑩	$\begin{array}{r} 11 \\ 6 \overline{)70} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 10 \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 4 \phantom{0} \end{array}$
(計算)	$8 \times 11 + 7 = 95$	(計算)	$7 \times 11 + 5 = 82$	(計算)	$6 \times 11 + 4 = 70$

⑪ 48まいの紙を1人に4まいずつくばりました。何人にくばれますか。(図はなぞってかき方をおまじよう。)



(式)  $48 \div 4 = 12$

(答え) 12人

	1	2		
4	4	8		
	4		8	
			8	
			0	

筆算で計算しよう。

⑫ 91このあめを1人に3こずつくばります。何人にくばるか、何にあまりますか。

(式)  $91 \div 3 = 30 \text{ あまり } 1$

	3	0		
3	9	1		
	9		1	

(答え) 30人にくばれて、1こあまる。

けい算の答えがわからない数をにら、ていながら、わり算を問うてあげています。直そう!!

⑩や⑪のまい数に注目して、わり算をするたのね。  
 ⑫のまい数のわり算だから十の位  
 ①のまい数のわり算だから、一の位に商がたつね。

$$\begin{array}{r} 30 \\ 3 \overline{)91} \\ \underline{9} \phantom{0} \\ 1 \phantom{0} \\ \underline{0} \\ 1 \end{array}$$
 ← と書いてみるよ。



4年②

わり算のしかたを考えよう (5/29の答え)

わり算の練習をしよう。(三桁÷一桁の計算が中心)

- ①  $400 \div 2 = 200$       ②  $1600 \div 4 = 400$   
 ③  $2000 \div 4 = 500$       ④  $1000 \div 2 = 500$

①②③を4人で分けたいのよ...

③と④の計算のやりかたは30のよ?

⑤	146	⑥	134
5/734		6/809	
5		6	
23		20	
20		18	
34		29	
30		24	
4		5	
⑦	210	⑧	206
4/843		3/619	
4		3	
4		6	
3		19	
3		8	
3		1	

別解  

$$\begin{array}{r} 210 \\ 4 \overline{) 843} \\ \underline{8} \phantom{0} \\ 4 \phantom{0} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \\ 3 \phantom{0} \\ \underline{3} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \end{array}$$

⑨ ~ ⑫の中で、  
 かがむくてもよい  
 計算のときは、  
 あたから、かがむ  
 ぐてもかまいません。  
 人のそのとき、  
 筆算のしかたを  
 ぶ返して、  
 にかき算してね。

別解  

$$\begin{array}{r} 206 \\ 3 \overline{) 619} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \\ 19 \\ \underline{18} \\ 1 \phantom{0} \end{array}$$

⑨	64	⑩	268
4/256		2/536	
24		4	
16		13	
16		12	
0		16	
		16	
		0	
⑪	207	⑫	788
3/623		6/468	
6		42	
23		48	
21		48	
2		0	

別解  

$$\begin{array}{r} 207 \\ 3 \overline{) 623} \\ \underline{6} \phantom{0} \\ 2 \phantom{0} \\ \underline{2} \phantom{0} \\ 3 \phantom{0} \\ \underline{3} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \end{array}$$

別解とは、  
 この方法でも正解です、  
 という意味。

4年⑬

わり算のしかたを考えよう (6/1)

わり算の学習をふり返ろう。(わかる、できることは、お得意にできるようになる。わからないところは、おぼろげに覚えておこう)

(1) 76ページの本を毎日7ページずつ読むと、何日で読み終わるか。

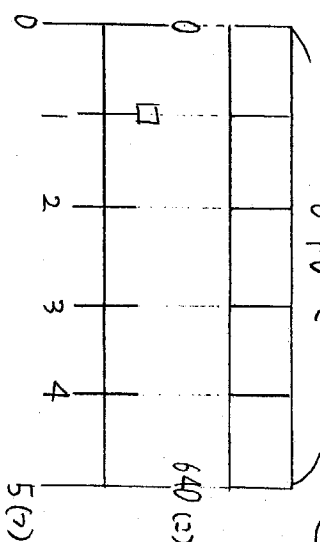
(式)

「もし、あまたページがあったら、どうする？」

(答え)

(2) 640のピンズを同じ数ずつ、5つのビンに入ると、1つのビンに何個入るといになりますか。

640こ



「算算を  
かひょう。」


(答え)

(3) 筆算で計算しよう。(けん算もしよう。)

①

6) 79

②

7) 84

③

3) 92

(けん算)

④

3) 542

⑤

4) 849


⑥

6) 628

⑦

7) 590


「ゆきぼうで」もやります。  
「おから」/「分らない」もずがしいところを  
は、きりさせておいでね。

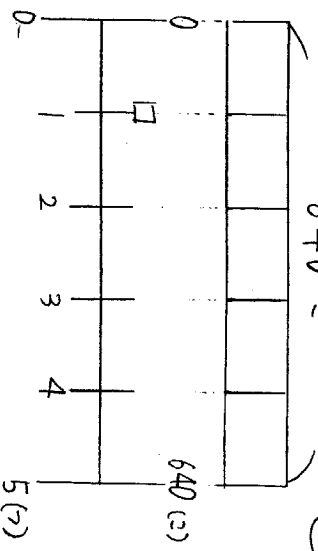
4年④ わり算のしかたを考えよう (6/1の答え)

わり算の学習をふり返ろう。(わかる、できるところは、お得意にわかる。わからないところは、おぼろげにわかって、おぼろげにわかって、おぼろげにわかって)

(1) 76ページの本を毎日7ページずつ読むと、何日で読み終わりますか。

(式)  $76 \div 7 = 10$ あまり6ページ  
 10 + 1日 = 11日  
 あまたのページを読む日  
 (答え) 11日

(2) 640のページを同じ数ずつ、5つのビンに入めると、1つのビンには何ページ入りますか。  
 (式)  $640 \div 5 = 128$   
 (答え) 128



1	2	8	
5	6	4	0
5	5		
	1	4	
	1	0	
		4	0
		4	0

(3) 筆算で計算しましょう。(けん算をしましょう。)

①  $13 \div 1 = 13$       ②  $12 \div 1 = 12$       ③  $30 \div 3 = 10$

$6 \overline{) 79}$        $7 \overline{) 84}$        $3 \overline{) 92}$

$6 \overline{) 19}$        $7 \overline{) 14}$        $9 \overline{) 2}$

$1 \overline{) 8}$        $1 \overline{) 4}$        $2 \overline{) 2}$

$1 \overline{) 1}$        $1 \overline{) 0}$        $2 \overline{) 2}$

(7人算)  $6 \times 13 + 1 = 79$       (7人算)  $7 \times 12 = 84$       (7人算)  $3 \times 30 + 2 = 92$

④  $180 \div 3 = 60$       ⑤  $212 \div 4 = 53$

$3 \overline{) 542}$        $4 \overline{) 849}$

$3 \overline{) 24}$        $8 \overline{) 4}$

$2 \overline{) 4}$        $4 \overline{) 4}$

$2 \overline{) 4}$        $4 \overline{) 4}$

$2 \overline{) 2}$        $9 \overline{) 2}$

$2 \overline{) 2}$        $8 \overline{) 1}$

(7人算)  $3 \times 180 + 2 = 542$       (7人算)  $4 \times 212 + 1 = 849$

←をみて、  
 百の位の計算は  
 322  
 十の位の計算は  
 22  
 一の位の計算は  
 122  
 いろいろと  
 いろいろと

⑥  $104 \div 6 = 17$       ⑦  $84 \div 7 = 12$

$6 \overline{) 628}$        $7 \overline{) 590}$

$6 \overline{) 28}$        $5 \overline{) 6}$

$2 \overline{) 8}$        $3 \overline{) 0}$

$2 \overline{) 4}$        $2 \overline{) 8}$

$2 \overline{) 4}$        $2 \overline{) 2}$

別解  
 $6 \overline{) 104}$   
 $6 \overline{) 628}$   
 $6 \overline{) 28}$   
 $6 \overline{) 24}$

(7人算)  $6 \times 104 + 4 = 628$       (7人算)  $7 \times 84 + 2 = 590$

しゅきょうで「やり」ます。  
 それから「分」からない「さ」かいてころを  
 は、きりさせておいてね。